

「ヤバイ、ビミョー」からの卒業

〜そして「伝わる」表現を目指して〜

使用教材：「言葉を集めよう」(二年)

岐阜県各務原市立中央中学校教諭

村上薫子

1 指導の意図

生徒たちを見ていると、さまざまな状況や考えを一つの言葉だけで表現してしまうことが多いように感じます。例えば、生徒がよく使う言葉に「ヤバイ」「ビミョー」があります。彼らによれば、「ヤバイ」は本来の「危険だ」「悪い予感」等の意味の他に、「すごい」「すてきだ」などのプラス評価を表すものとして、「ビミョー」は肯定とも否定ともいえない曖昧なニュアンスを伝えるのに便利で、どちらかというところ定寄りの意味合いで使うとのことでした。

言葉は変化するといわれますが、ニュアンスで伝え合える若者どうしであっても、物事や自分の考えを単純なひとりで片づけたいという傾向は、曖昧なままの思考を助長させ、よりよく伝えようとする相手への配慮や、自身の言葉遣いへのこだわりが欠落していく危惧を感じさせます。

生徒たちの語句を増やし、語彙を豊かにするためには、そのよさ——つまり、「表現するって楽しいな」「その表現、すごくわかりやすい」という実感をもたせることが大切だと考えました。そこで、「ヤバイ、ビミョー」からの卒業もつと『伝わる』表現を目指して」と題し、普段の言葉の中に息づくオノマトペ（擬声語・擬態語）を取り上げ、五感を働かせて表現する楽しさを味わえる授業を試みました。

2 授業の展開

● **目標**
○伝えたいことや気持ちに合った表現をするために、オノマトペを効果的に使う。

■ **学習の実際・指導の工夫**
● **第一・二時**
・オノマトペについて理解し、学習の見通

濃厚でクリーミーなあつあつの○○。中にはプリップリのエビ。プチッという食感が最高。じゅわじゅわおどる○○から出るほんわかとした甘い香りもやみつきになるおいしき。(グラタン)

自分の紹介文がクイズとして成立するためにどんな表現を用いるべきか熟慮する生徒の姿が見られ、生徒が自分の表現を見つめる・見直すよい機会となりました。

第三時

・イラストを見て人物や場面の様子を伝えるオノマトペを考え、交流する。
ここでは、表現の対象を食べ物以外の物や音、動作、状態、感情に広がります。参考図書(※)に掲載されている吹き出しのないうイラスト(男の子が缶ジュースを飲んでいる場面)を使用し、どんなオノマトペで表現できるかを考えさせました。

ブルトッップを開けているイラストからその音を探ねると、生徒からは「カチッ」「プシュッ」という声が上がりました。「プシュッ」と答えた生徒が「炭酸飲料をイメージした」と言うと、他の生徒は「ジュースの種類によって音は違う」と発言しました。また、ジュースを飲んでいるイラストから

しをもつ。
・自分の好きな食べ物の特徴を表すオノマトペを用いておいしさが伝わる紹介文を書き、クイズ大会をする。

① **オノマトペの豊かさに気づく**
オノマトペを身近に感じられるよう、お菓子のパッケージを複数提示しました。キヤッチコピーには、インパクトを与える言葉、思わず食べてみたくなるような食感や見た目を伝える表現が豊富にあることに気づかせました。

② **五感を働かせて食べ物を表現する**
お菓子以外の食べ物をつく提示し、五感を働かせたオノマトペを取り入れ、おいしさが伝わる紹介文を書かせました。「おいしい」という言葉を使わずにおいしさを表現することが条件です。生徒は、同じ食べ物でも多様なオノマトペが使えること、五感を働かせると「おいしい」の理由が具体的になることを実感していました。

は、「ごくん」「ごくり」がひと口で飲み下す様子であるのに対し、「ごくごく」「ぐびぐび」など反復型のは勢いよく飲み続ける様子であると意見が飛び交いました。

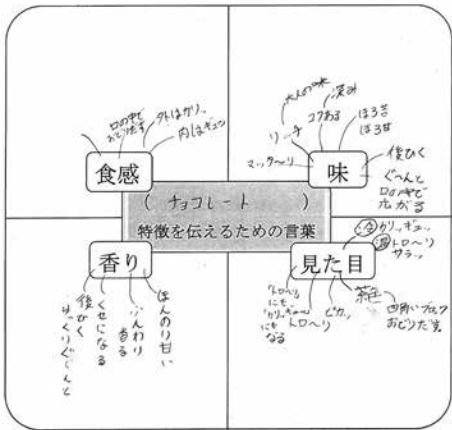
3 おわりに

授業後、次のような感想が聞かれました。
・オノマトペを使うと味や食感をもっと伝わる。「サクサク」と「ザクザク」は少し言葉が違って全く印象が違う。
・オノマトペで音や気持ちが想像できる。
・同じ絵でも人それぞれオノマトペが違う。こんな感じ方もあるのかと驚いた。
・生徒たちは、オノマトペの表現の多様性やわずかな差異も敏感に感じ取っていました。また、静止画であるイラストにオノマトペが命を吹き込むことも、活動を通して実感したようです。このことは、言語感覚を磨く大きなきっかけとなったと思います。

実践後、生徒の生活記録文にオノマトペを使った表現が増えてきました。今後は、オノマトペだけでなく多様な修飾語や比喩、類似表現なども視野に入れ、語彙を豊かにする授業を継続していきたいと考えています。

③ 好きな食べ物をクイズ大会をする

自分の好きな食べ物を友達に当ててもらうクイズ(紹介文)を作るため、その食べ物について「味、食感、見た目、香り」の観点でオノマトペのイメージマップを作ります。紹介文は、集めた言葉を効果的に使って百字程度に収めるようにしました。



▲「チョコレート」のイメージマップ

〈紹介文の例〉

ほろ苦く甘い、深みのある大人の味。口の中でぐくんと広がる甘みと苦みのほどよいバランス。冷やすと外はカリッ。内はギュッ。温めるととろとろとおどります。ほんのり香る○○は食べたらず絶対やめられない。(チョココレート)